

製品名: MED31 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab13777

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	MED31 SOH1 CGI-125
別名	
遺伝子 ID	51003.0
SwissProt ID	Q9Y3C7
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1-80

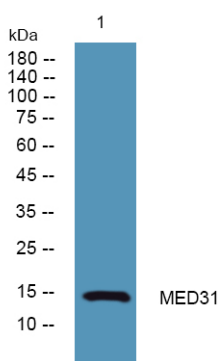
背景

機能: メディエーター複合体の構成要素であり、ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与するコアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質から RNA ポリメラーゼ II の基本的な転写機構へ情報を伝達する橋渡し

として機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNAポリメラーゼIIおよび一般的な転写因子との機能的な開始前複体の組み立ての足場として機能します。類似性:メディエーター複合体サブユニット31ファミリーに属します。サブユニット:メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、およびCDC2L6/CDK11で構成されています。MED12、MED13、CCNC、およびCDK8サブユニットは、CDK8モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の補助活性が低くなります。1つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の調製物は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、およびTRAPなど様々な名称で呼ばれています。機能:メディエーター複合体の構成要素であり、ほぼすべてのRNAポリメラーゼII依存性遺伝子の転写制御に関与するコアアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的な調節タンパク質からRNAポリメラーゼIIの基本的な転写機構へ情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNAポリメラーゼIIおよび一般的な転写因子との機能的な開始前複体の組み立ての足場として機能します。類似性:メディエーター複合体サブユニット31ファミリーに属します。サブユニット:メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、およびCDC2L6/CDK11で構成されています。MED12、MED13、CCNC、およびCDK8サブユニットは、CDK8モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。1つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAPなど様々な名称で呼ばれています。

研究分野

画像データ



SH-SY5Y細胞溶解液のウェスタンブロット分析、MED31ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩